

令和6年9月27日

1つ目の項目は、江津地域の県立高校の新設についてです。

昨年の6月定例会におきましてこの問題が話題にのぼりまして、私も6月一般質問でどういう方向性で議論が進んでいくのかと質問させていただきました。教育長の答弁におきましては、令和10年度前後に、江津工業高校の場所で統合新設の新しい学校を設置するという答弁があったかと思えます。県の教育委員会は、当初から新設校を江津工業高校の場所に開設する方針を示しておられますが、新設校の開設場所を現在の江津工業高校の場所とした理由について伺います。

(教育長) 工業教育では、金属加工の鋳造、溶接などの実習で使用する設備の規模が大きく、施設の基礎や床はその荷重に耐えうる特殊な構造となっております。従いまして、新たにこれを整備するということは、大きな経費がかかるところでございます。

昨年の12月に決定した「基本的な方針」においては、江津工業高校の既存の実習施設・設備を有効に活用するため、江津地域の新設校の開設場所を、江津工業高校の敷地を念頭、ということにしております。

8月19日に、江津高校・江津工業高校両校の後援会・卒業生会の4団体の連名によりまして野津教育長に対しまして、要望書が提出されました。内容は新設校の施設整備に関するものでありまして、4点あります。1つ目が管理棟及び教室棟の新設、2つ目が体育館の新設、3点目が校門の移設、そして4つ目は女子寮の新設を含めた既存寄宿舍の整備を求めること、この4点であります。

管理棟及び教室棟につきましては、新設校が設置される予定の江津工業高校の本館、管理棟・教室棟に当たりますが、その本館が昭和42年竣工で老朽化が著しい状況であります。この本館の建物は4階建てでありまして、エレベーターもなく、かつ外廊下ということで、雨・風・雪の際に生徒は濡れながら外

を移動するような状況であります。海に近いところでもあり塩害の被害もひどいというような状況であります。2つの学校を統合し、新しい学校が設置される上で、施設整備がなされることは、名実ともに新しい学校が江津市に設置されたという統合新設の象徴になるものと考えますし、その必要性は極めて高いというふうに感じております。

3つ目の項目であります校門の移設につきましても現在の校門の位置がやや安全上危険な場所にあることもあり、同様に新しい学校を設置したという統合新設の象徴の理由から移設を求めるものであります。

体育館につきましては、昭和44年の竣工、寄宿舎につきましては男子用寄宿舎が昭和56年の竣工で、いずれも老朽化が進んでおります。私も今年2月に地元江津市議会の議員の皆さんと一緒に江津工業高校の校舎・体育館・寄宿舎などの施設の状況を確認させていただいたところです。4つの施設整備に関する要望が両校関係者の総意として、教育長に対し届けられたところであり、要望の場におきましては、教育長には誠意ある対応をしていただいたというふうに感謝申し上げます。ぜひこの要望の実現に向け引き続きご尽力をいただきますようお願いを申し上げます。この、関係4団体からの要望についてどのように考えているのか伺います。

（教育長）新設校の設置に当たりましては、まずは、どのような学びを展開し、子どもたちにどのような資質・能力を育成していくのかという教育の内容の検討が大切であります。

関係者で構成します新設校開校準備委員会では、県立大学やポリテクカレッジ島根との連携の在り方なども含めて、教育内容の検討を進めているところでございます。

老朽化した管理棟、教室棟及び体育館の整備につきましては、この議論を踏まえながら検討してまいります。

校門の移設につきましても、これらの整備を検討する中で併せて検討してまいります。

寄宿舎につきましては、現在、江津工業高校の寄宿舎を江津高校と共同で利用しておりますが、女子生徒が使用できる環境にはございません。今後は女子生徒の受入れも想定しながら、必要な整備について検討してまいります。

関係4団体の要望が8月に行われた訳ですけれども、この時期に要望させていただいたのも、我々、私も現在江津高校の卒業生会の方で、4団体の1つの団体の長をさせてもらっており、要望の場にも立ち合わせてもらったわけですが、この時期に、8月に要望を行ったのも、教育内容が決まってから要望した方が良いのではないかという意見もあったところではありますが、施設整備がなされる場合、多額の整備費が発生することに加えまして、整備に一定の時間を要することが予想されるため、令和10年度前後とされる開校時期に施設整備を間に合わせたいという地域の強い願いがこめられているから、この8月の時期に要望を行わせていただいたところです。教育内容に基づいて施設が整備されることと思いますが、基本的には、江津高校の普通科高校、江津工業高校の工業高校の教育が継承される学校であると思ひまして、大きく何かが変わるとは認識しておりませんので、ぜひこの地域の総意に基づく要望に対して教育委員会に置かれましては対応をお願いしたいと思ひています。そこで、令和10年度前後に江津工業高校の場所に開校を想定し、検討を進められています。開校に合わせて施設整備が完成し、新入生を受け入れることが可能かどうか伺います。

(教育長) 施設整備につきましては、現在の江津工業高校がそのまま存続し、在校生がいる中で、その敷地内において、建替であるとか、修繕であるとか、整備を行います。

そのため、片方で通常の教育活動が行われている状況で、騒音を抑えるでありますとか、安全な動線を確認する、といった制限が想定されます。このため、整備には少し時間がかかるのではないかと、更地での新築に比べますと時間がかかると考えられます。

このため、今の予定ではございますけれども、開校時に全ての整備が完了するという事は、少し困難ではないかと思ひておりますが、新設校の特色ある新たな学びに学年進行で支障がないように取り組んでまいりたいと思ひております。

校舎整備、どのような形で既存の校舎・施設を活用しながら整備が進んでいくということでテクニク的なこともこれから検討していただくことになるか

と思いますけれども、開校の時期に最低限の整備を終え、新しい施設で新入生を迎えたいという地域の強い要望に是非対応していただきたいと考えているところでもあります。また、開校準備委員会の皆様にも江津工業高校の施設について視察・見学していただいて、現在の施設では快適な状況、望ましい教育環境になっていない部分について認識していただいていると考えていますので、そういった点も踏まえて検討を進めていただければと考えます。

さて、現在は両校の関係者と県教育委員会とで構成される開校準備委員会により、施設整備や教育内容など開校に向けた準備、議論が行われていると承知をしております。この会議は非公開でありますので、今後発表される中間とりまとめにその協議結果が盛り込まれるものと承知しております。現在、開校準備委員会で新設校の教育内容等について検討しているとのことですが、検討状況やどのような議論となっているのか伺います。

（教育長）開校準備委員会は今年2月に設置いたしましてから4回開催するとともに、これとは別に専門部会での検討も重ねております。

これまでは、主に普通科系と工業科の学科やコース、学びの内容、開校の時期、県立大学等、地元の教育機関との連携の在り方について議論をしてまいりました。

普通科系の学びにつきましては、従来の普通科の他に、これまで江津高校が培ってきた地域との連携をより発展させるような「新しい普通科」を設置することで新設校の魅力の一つとすること。

この新しい普通科も含めて、普通科系2クラスを合わせてくくり募集として、1年生では共通した学びとし、2年生から生徒が自らの適性や興味関心に応じてそれぞれの学科を選択できるようにすべきだ、工業科2クラスについては、同様にコースを合わせてくくり募集とし、2年生からそれぞれのコースを選択できるようにすべきだ、という意見などが出ております。

また、普通科系の探究活動や、工業科の課題研究に広がりや深みが出るように、普通科系と工業科が連携できるようにすべき、等の意見も出ております。

他にも、地域の特色を生かした部活動を設置すべきとの意見もございました。

開校の時期につきましては、10年4月を目指し、中学生や地域の皆様に周知していくのが良いのではないか、という議論がございました。

これらの議論の詳細につきましては、今後、中間まとめ(案)として、県議会へもご報告し、ご意見を伺ってまいります。

開校準備委員会での議論が逐一公表されるわけではありませんので、地元にもいまでも統合新設について、決定がなされたときには大きく報道があったわけですが、その後の議論がどのように進んでいるのかなかなかわかりにくいという声も耳にします。地元の江津市議会の9月定例会におきましても市議会の方から、そうしたなかなか情報の方が入ってこない、市の方にそれを確認するような質問が行われたというふうに聞いております。情報の出し方というものにも注意も必要ですが、地元の関心と期待を一層高めて、地域に必要とされる新設校設置に向けて、地域への情報提供と意見を広く聴く機会はより丁寧に進めていただきたいと思いますと考えております。新設校の教育や施設をより良いものとするためには、地元住民や関係者の意見が重要だと考えられます。今後も引き続き、地域への情報提供、地元住民や関係者の意見を丁寧に聞きながら検討を進めてほしいと考えますが、教育長の所見を伺います。

(教育長) 開校準備委員会にはオブザーバーとして江津市や江津市教育委員会、両校の学校運営協議会の会長、GO(ゴー)▶GOTSU(ゴウツ)コンソーシアムの構成員、県立大学やポリテクカレッジ島根といった地元教育機関にも関わっていただいております。オブザーバーの皆様方からも積極的に意見を出していただき、活発な議論がなされているところでございます。

先ほど申し上げましたとおり、開校準備委員会で検討した内容は、中間まとめ(案)として県議会に報告し、県教育委員会のホームページでも掲載する予定でございます。

検討状況をⅠ期・Ⅱ期と分けて、その都度報告する。そして、さらにその中間どころでも、中間まとめという形で報告するという形で、できるだけ一定程度まとまったものを、折々に出すやり方をとっております。

1つひとつの毎日の議論はデリケートな問題も含まれますので、なかなか公開という訳にはいきませんが、そういった議論を重ねて今回中間まとめということで出させていただきます。

江津の市議会とはスケジュールがちょっと前後いたしましたので、そちらの方には間に合わなかったところがございますけれども、先ほど申し上げたような内容で、この度まとめておりますので、県議会に中間どころの状況を報告し、ご意見を伺って、年度末にはI期のまとめとして仕上げたいという風に思っております。

引き続き、地元の意見は丁寧に伺いながら進めさせていただきます。

是非、期待を、この新しい学校に対して地域の皆様にもっていただいて開校に向けて動きを進めていただきたいと思いますのでよろしく申し上げます。